

児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状

## 2 自校の取組の成果と課題

区分	成果と課題
①暴力行為の状況等	自分の感情をコントロールできず、周囲のものや友だち、教職員に対して粗暴な言動をする事案があったため、当該児童および保護者と話し合い、改善を図っている。現在は落ち着きつつあり、引き続き、教職員全体で組織的に対応する。
②いじめの状況等	学校全体でいじめの未然防止と早期発見、早期対応に取り組んでいる。いじめを認知した時は、迅速に対応し、解消している。学校外でのスマホ、LINEなどによるトラブルが低年齢化する傾向があり、そのつど指導している。困った時は、すぐに相談できるよう、温かい雰囲気の学級、学校づくりを大切にしている。
③小・中学校における不登校の状況等	学級担任をはじめ多くの教職員で本人と保護者へ働きかけるとともに、区こどもサポートネットやSSWなど関係諸機関と連携して、登校支援を進めてきた結果、再登校に向けて進んでいる。